

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2008年1月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

## 「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

# HIYAKU

第262号

TOP\*NEWS

## あけましておめでとうございます

### 2008年が希望に満ちた年でありますように

## 吹奏楽部3年連続5回目の金賞受賞祝賀会開催



本校アリーナにて金賞の演奏を披露

## 新年を迎えて ~更なる改革を目指して~



校長  
杉 一郎

新年明けましておめでとうございます。新しい年の始まりです。

この1年間も沢山の出来事がありました。そのなかでもっとも大きな出来事は念願であった本校中等部の開校です。いよいよ10年間の一貫教育がスタートしたのです。439名の高校新入生と共に入学してきた84名の中等部入学生を迎えた時は、とても感動しました。

学習と部活動の両立を目標のひとつに掲げた本校に、

また大きな記録が生まれました。10月21日の第55回全

国吹奏楽コンクールで、本校吹奏楽部が3年連続5回目の金賞を受賞しました。11月17日には本校アリーナ・カフェテリアで、港区長、高輪警察署長など、たくさんのご来賓を迎えて金賞受賞記念演奏会・祝賀会を開催いたしました。吹奏楽部の他にも、ディベート研究同好会がディベート甲子園で全国ベスト8、即興ディベート大会優勝、さらに卓球部が学園オリンピックで初の団体優勝を飾るなど、活躍のめざましい1年間でした。

スポーツ部門に先立って実施された学園オリンピック文化部門では、一次審査を通過した26名が頑張り、優秀賞4名、奨励賞3名、音楽部門銀賞2名のすばらしい成績を収めることが出来ました。

2004年度から文部科学省より指定を受けていたSSH(スーパーサイエンスハイスクール)活動が、昨年度で指定期間終了となり、新たに再チャレンジしたところ、これまでの活動が高く評価され、再びSSHの指定を受けることになったことは、学習面で高い評価を受けた証です。今後5年間にわたり、今まで以上の活動を展開していきます。

これら本校の諸活動が高い評価を受け、「一期一会」をテーマにした第43回建学祭では昨年の記録を1,000名以上上回る6,156名のご来客を迎えて、新記録更新となりました。内容的にも初めて全クラスが参加し、レベルの高い模擬店、展示、ステージ発表等が行われました。

賀来陽一新会長を迎えた後援会、ベストティーチャータ

イプAに今井貴志先生(地歴公民科)、山口恵美子先生(音楽科)、田中亨先生(英語科)、タイプBに高橋光太先生(数学科)がそれぞれ選ばれました。ロス五輪金メダリストの山下泰裕先生をお迎えして開催された夏の東海カルチャーセミナーでは、山下先生が「過去を振り返らず、今をひたむきに生きる。いくつになっても夢を持つ。」と熱く語られ、会場に集まった聴衆全員が、「さすがだな」と感動しました。

今年も電子黒板設置による授業改革の推進、高校新入生の英検からTOEIC Bridgeへの移行による英語教育改革など、たくさんの飛躍を計画しています。これらの改革については、新年度を迎えた4月に詳しくお話しさせていただきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 新生徒会会長の抱負

本年度より中等部が設立され、生徒会も中等部と高校が一体となって活動をスタートさせます。これまで先輩方が築いてきた生徒会の伝統を大切に、新たな試みにチャレンジしていくことで生徒の皆さんが充実した学校生活を送れるように努力してくれることを期待しています。



### 高校生徒会会長

松原 桃子

2年6組 川崎市立大師中学校出身

今年の生徒会の目標は、大きく分けて2つあります。まず1つ目は、中央委員会(各委員会の委員長に集ってもらい活動の報

告や検討をする組織)を開催し、学校行事、委員会活動、部・同好会活動をより活発なものにしていくことです。生徒会役員と各委員会の委員長が集まり話し合うことで、さらなる学校の発展につながると考えたからで

す。2つ目は、生徒の皆さんの思い出に残る行事作りに生徒会が積極的に参加することです。特に体育祭や建学祭は生徒と教員が協力して成り立っている行事だと思います。先生方に頼ってばかりではなく、私達生徒が今以上に積極的に企画運営をすることで、学年を越えて生徒同士が協力をする大切さを実感したり、失敗の中から学んだりと中高生時代の感慨深い行事になると信じています。

今年から中等部生も入会し、中高生が団結し、よりよい学校にしていくため生徒会役員一人ひとりが一生懸命頑張っていきます。皆様のご協力をよろしくお願いします。



### 中等部生徒会会長

黒澤 つむぎ

1年A組 港区立御成門小学校出身

私は小学校では大きな行事に関わったことがあまりなく、中学校では積極的に学校行事に関わりたいと思い立候補しました。

生徒会長になった今、がんばりたいことが2つあります。

1つめは自分のやることに責任を持つことです。中等部の代表として、生徒会長になったからにはしっかりとやっていきたいです。

もう1つはみんなと協力して活動するということです。何事も1人ではできないので副会長や書記、会計の生徒会役員全員でがんばろうと思います。

高校生や先生方に迷惑をたくさんかけることもあると思いますが、他の生徒会役員と力を合わせて頑張るのでよろしくお願いします。

## 2007年度学校運営方針⑥

### 教員総合人事制度による人材育成

教員の能力開発と人材育成を主眼とした教員総合人事制度が確立され、資格等級別研修会、役職者研修会、課題論文研修、校内研修などの各種研修や、業績評価、自己評価などの評価制度と組み合わせ、教員一人ひとりの能力向上を促進します。



12月5日に行なわれた坪井節子弁護士による「子供の人權」についての教員研修

## 高輪2丁目文化財周辺クリーンキャンペーン

11月26日に行われた高輪支所主催の「高輪2丁目文化財周辺クリーンキャンペーン」に本校からも福祉委員やダンス部を中心として、中等部・高校合わせて40名以上の生徒が参加しました。昨年に続いて二度目の参加であり、今後も生徒の主体的かつ積極的な活動を通じて地域に貢献していければと考えています。

福祉委員会委員長 3年4組 大田区立蒲田中学校出身 **松田 麻里**

先月私たちは、地域の清掃活動に参加しました。これは、中等部生、高校生と周辺住民の方々が協力して地域の清掃活動を行うことを通じて、地域の美化の意識を高め、同時に周囲にある文化財やみどりの存在を確認し、より地域への関心を深めることを目的としています。私たち高輪生の他に、隣の高輪学園や泉岳寺駅周辺町会・自治会の方々などたくさんの参加がありました。ゴミ拾いをするにあたって私たちは伊皿子コース、泉岳寺コースの二手に分かれ、私は伊皿子コースに行きました。去年もこの行事に参加したのですが、同じように道にたくさんのゴミが落ちていました。特にタバコの吸い殻やビニール類が多かったです。集められたゴミは1つのゴミ袋では収まりきらず、数袋にまたがって押し込められていました。これを見て改めてゴミ問題の大き

さを実感させられました。

こういった経験は、実際に体験して初めて分かることも多いと思います。皆さんも来年ぜひこの行事に参加してみてください。



# 学年の様子

## 中等部 1学年

中等部では、11月22日(木)のHR活動の50分間を使い、「マナー講座」を開きました。講師は(株)ミズ・インターナショナルの代表取締役、水元澄さんにお願ひしました。水元さんは、主として社会人向けの「ビジネスマナー」の講師として活躍されている方で、航空会社の客室乗務員であったという経歴もお持ちの方です。

当日は「マナーのあいうえお」というタイトルで、社会生活を送っていく上で心がけたい5つのポイントの頭文字「あいうえお」について、一つ一つご自分の体験を交えながら、また生徒に実際に体験してもらいながらお話をさせていただきました。5つのポイントとは、「あいさつ」「いい身だしなみ」「美しい言葉」「笑顔」「お辞儀」だそうです。「美しいことば」のお話のなかで水元さんが、「言霊」や「尊敬語・謙譲語・丁寧



心のこもったお辞儀とは…(マナー講座の様子)

語」とは何かという質問をすると、生徒が「言葉に宿っている不思議な力」などと見事に答えたりする場面もあり、社会人でも答えられない人がいる中で、中学生でしっかり答えられるのは素晴らしいと水元さんからお褒めの言葉をいただく場面も。生徒たちにとって一番難しかったのは、正しい角度で「お辞儀」をする仕方だったようです。

中等部の生徒たちが、誰からも愛されるようなマナーを身につけてくれればと願っています。

## 高校 1学年

現在、1年生は自分の進路に向けて1つ目の大きな決断をしなければならないときに来ています。2年生に進級する際のクラス分けに関わる文系・理系の選択です。やりたいこと、なりたいたいものがはっきりしている生徒にとって迷いはありません。ところが、まだ高校1年生。面談や日常の会話の中で、「将来のことなんて、まだまだ考えられない」と話す生徒もたくさんいます。具体的な学部学科は未定であっても、ここでの選択が今後の進路に大きな影響を及ぼすこ

とは当然です。2年生・3年生になったときに後悔しないよう、自分の興味関心・適性・希望など十分に考えた上で決定してもらいたいものです。

話は変わりますが、年が明け、今年度も残すところ3か月となりました。今のクラスでいられるのもあとわずかです。「クラス替えはしたくないなあ」という声も多く聞かれますが、新しい友達ができることを楽しみにしている様子もあります。泣いても笑ってもクラス替えはもう目の前に迫っています。残された時間を大切に過ごしてもらいたいものです。

## 高校 2学年

いささか陳腐に聞こえるかもしれませんが、昔から「一年の計は元日にあり」という言葉があります。人生には、それぞれの場面に応じてさまざまな目標があるように、さしずめ、これは新しく始まる1年間の目標といえるでしょう。

2年生諸君が新しい年を迎えて、どのような目標を設定したのか知る術とてないですが、今年は、一人ひとりの今後の人生を占う重要な1年間になることはまず間違いなさそうです。昨秋に保護者(三者)面談を実施して、冬期休暇を経て、卒業後の進路先をより具体的に模索しなければならない生徒諸君が多く存在するに違いありません。進路先の決定は人生の大きな選択だけに、ぜひとも慎重に判断してもらいたい

ものです。

- ・何事にも手を抜かず全力で頑張ること。辛いことがあっても笑顔を絶やさない。
- ・健康第一、これに限ります。また、教員としても人としても成長していけるよう努力を続けていきたいと思っています。
- ・昨年、私自身はアメフトについてあまり勉強できなかったと思うので、より励みたい。また、電子黒板を使えるようにしたいと思います。
- ・今年1年間も平凡に生きること。「平凡な人生」こそもっとも「非凡な人生」であることを証明するためにも。

以上、高橋佑、田村英、中村、高橋昇先生方の目標です。どれが誰の目標かわかりますか？

## 高校 3学年

11月24日(土)に高校3年間で最後となるアリーナでのスポーツ大会が行われました。

このスポーツ大会に向けて、クラスによっては相当気合いが入っていた様子がうかがわれます。昼休みのアリーナ解放時などは、クラス・チームのコンディションを整えるために、かなり練習を積んでいたところもあります。その甲斐あって、当日の試合内容は今までで一番レベルも高く、盛り上がり方も最高でありました。部活動引退後のエネルギーが、このスポーツ大会で発散されていたようです。うれし泣き、悔し泣きする生徒も居たほどに…。

種目とその結果順位(1位・2位・3位の順)は、男子バスケットボールでは8組B・9組B・4組Aと8組A、女子バスケットボールでは6組・4組・1組Aと10組、卓球では8組A・8組C・7組Aと8組B、男子バレーボールでは7組A・2組・6組Aと10組A、女子バレーボールでは5組・8組・10組と2組B、綱引きでは7組・3組・8組と6組でした。そして総合では、8組・7組・6組でした。おめでとう。

また、バスケ・バレーにおいては部活動のドリームチームと優勝チームとのエキシビションマッチも行い、非常に白熱した試合が展開されました。最後のスポーツ大会は、生徒・教員共に忘れられない良い思い出になったでしょう。

## 理科モデル校研究公開授業

10月26日(金)、理科モデル校研究公開授業が行われました。中等部、高校物理・化学・生物の全ての分野で授業が公開され、東海大学と各付属校以外からの来校者も含め、約30名の先生方が参観されました。授業の後には、参加していただいた先生方と活発な研究協議が行われました。

### 生徒参加型、問題解決型の研究授業

本年度は、理科の教員全員が研究授業もしくは公開授業を実施しました。特に研究授業では、中等部1年生で電子黒板を用いて地震のゆれの伝わり方を考える授業を、高校2年理系クラス物理では力学的エネルギー保存の実験を、高校3年文系クラス化学では電池の実験をおこないました。それぞれの授業では、様々な教材を用いたり新しい実験器具を作成したりと、生徒参加型の授業となるようにして、ただ単に内容を教えるのではなく、生徒たちが自ら疑問を持ち、深く考えた上で問題解決がおこなえるよう工夫してあります。生徒たちも多くの先生方が参観されている中、緊張することなく積極的に発言し、実験にも取り組んでい

ました。我々教員も参加された先生方からの貴重なご意見を参考に、今後もよりよい授業を展開し、今まで以上に授業開発に力を入れていこうと考えています。



電子黒板を用いた中等部の授業

## 吹奏楽部 全日本吹奏楽コンクール金賞受賞演奏会と祝賀会

### 3年連続の金賞を獲得した生徒の顔に誇りと自信と喜びが

吹奏楽部 顧問 畠田 貴生

去る、11月17日(土)に本校吹奏楽部の「第55回全日本吹奏楽コンクール」での金賞受賞を記念して、演奏会と祝賀会を開催していただきました。今年度は3年連続金賞受賞という部員たちの永年の夢を達成することができ、記念となる一日でした。演奏会には保護者の方々をはじめ、多数の方にご来場いただきました。また、祝賀会には港区長の武井雅昭様をはじめ、多数のご来賓の方々、香取草之助副理事長をはじめとする学園関係の方々、後援会・部活動後援会、高輪会、教職員、保護者の方々にご出席いただき、部員達の業績をお祝いしていただきました。部員達も顔には誇りと自信、そして喜びが浮かんでいました。来年度は規定により、高校はコンクールには出場できませんが、来年度の1年間はコンクールがない分、より充実した活動ができるのではないかと思います。これからも吹奏楽部は金

賞連続受賞の更新、そして皆様に喜んでいただける演奏を目指して頑張りますので、これからもご声援をよろしくお願いいたします。この度は本当にありがとうございました。



# SSH活動報告

10月30日(火)から11月2日(金)の期間で、立命館高校のSSFairに3年SSHクラスの生徒4名、教員3名で参加してきました。市橋拓馬君と土佐林大樹君が口頭発表、河原香織さんと林理奈さんがポスター発表を行いました。英語での発表や英語による講義・活動は、非常に貴重な体験になったようです。

## 科学の楽しさと、コミュニケーションの喜びを実感して

吾妻 俊治

高校教頭 地歴公民科担当

今回のフェアには、アメリカ、イギリス、中国など海外16校の高校生と国内は本校を含めて7校のSSH指定校が参加しました。立命館高校生による司会進行講演やプレゼンテーション等すべてのプログラムにおいて英語が唯一の言語であるという、日常生活とは全く違った4日間でした。本校を代表して行った「ペットボトルロケット」のプレゼンテーションでは、「英語での質問応答がうまくできるであろうか」と不安を口にしていた兩名でしたが、たいへんわかりやすく、ウィットに富んでいて聴衆からの大きな拍手をうけ、「excellent」との評価もいただきました。また「本校のSSH活動全般について」のポスター発表においても、朗らかな説明が好評でした。初めて出会った生徒と共にスパゲッティーブリッジを作成して強度を競ったり、震災時を想定したダンボールハウスの企画、作成などの作業を重ねることによって、参加した生徒は科学の楽しさと同時に、ツールとしての英語の重要性と、言葉が通じ、気持ちが通じることの素晴らしさを実感した様子でした。



英語で自分たちの研究結果を発表

## 3年間のSSH活動

河原 香織

3年10組 板橋区立桜川中学校出身

私たちSSHクラスは3年間を通して様々な活動をしてきました。今回、これらのことをポスターセッションで発表する機会があり、立命館高校に行ってきました。発表の準備にしても現地での活動にしても、とても苦労しました。というのも、海外からの参加校も多く、全て英語で会話するため、普段の英語の授業のような会話だけでは簡単にはいかないからです。相手にどう話せばよいのか、相手が何を言っているのかを理解することの大切さを実感しました。現地での活動としては、他国同士の文化交流や、与えられた課題で自分たちの発想で作品を作り、発表するといったプログラムや、京都近県にある企業見学などがありました。この4日間は私にとってとても貴重な体験でした。海外の人たちとはなかなか上手く話せなかったですが、それでもたくさんの人たちと交流することができました。また、自分の英語力の無さを痛感させられ、もっと積極的に英語の勉強をしようという目標を作ることができました。大学入学後も今回体験したことが活かせるようにしたいです。



英語の質問に英語できちんと返しました

## ペットボトルロケットの研究

市橋 拓馬

3年10組 世田谷区立深沢中学校出身

私はこの一年、ペットボトルロケットについて研究しました。最初はペットボトルロケットの製作ばかりであり面白くなかったのですが、実際に飛ばしてみると自分が想像していたよりもはるか遠くに飛び、感動しました。その理論を詳しく知りたいと思うようになり、遠くへ飛ばすために工夫を重ね何度も実験をしました。その実験の成果を立命館高校で発表することになりました。発表は英語で行われるため、まず日本語で作った発表資料を英語に直しました。発表前日まで、ほとんど放課後に残って準備をしました。立命館高校に着いてまず驚いたのは、海外の生徒が多くいたことでした。そのため日本語は使えないので、英語を使ってコミュニケーションを取りました。発表の前日は、原稿を覚えるくらいまで練習を重ねました。発表当日は楽しんで発表することを心掛けました。幸い良い講評をいただくことができ、非常にホッとしました。いつかまたこのような場所で発表できると良いと思いました。



強度が高い橋ができるかな

# 中等部のコーナー

## 『落語』

歌舞伎や能・狂言など江戸時代から受け継がれている芸能はいくつもあります。その中で今回は「落語」を聞きに行きました。落語と聞くと「昔の話で分からない」「古めかしくてつまらない」と思われがちですが、時代が変わっても笑いのツボは変わりません。

12月7日、中等部の生徒たちは江戸時代の人々と同じ「笑い」を楽しみました。

### 落語を聞いて

#### 横内 裕哉

1年A組 港区立青南小学校出身

僕はこれまで落語をテレビ番組の「笑点」で少し見たことがあるだけでした。でも授業で「寿限無」や「時そば」の話も聞き、他にも落語があることを学びました。

僕は今回初めて落語を聞きに行きましたが、話の内容がとても面白かったです。また講談という落語とは少し違うお話に加え、紙切りというすばらしい技も見せてもらいました。どちらも面白く楽しませてもらいました。

僕は寄席に行って、もっと落語や講談、紙切りのことを知りたいなと思いました。

### 羽織が目印

#### 石濱 友加里

1年B組 横浜市立日野小学校出身

私は12月7日に「お江戸日本橋亭」という所に落語を見に行きました。事前に授業で習った「着ている羽織を脱いだところから本題の落語が始まる」ということを注意して見ようと思っていました。当日はトリの噺家さんが羽織を着ていて、いつ脱ぐのか楽しみに、見逃さないようにずっと見ていました。噺家さんは客席に気付かれないように自然に後ろへ隠すように脱いでいました。それを見ることができて嬉しかったです。またぜひ見に行きたいです。



扉を開けると落語の世界!



さあ、いよいよ落語が始まります!



ナマの落語ってどんな感じだろう…?



ただ1枚の紙だったなんて…

# お知らせ

## 東海大学進学相談会 1月12日(土)

### 進路について考えよう

対象:高校2年生 生徒・保護者

東海大学の教職員を本校に迎え、  
各学部・学科の特色を説明していただきます。  
学部・学科ごとの説明会です。



## 英検・漢検 1月26日(土)

今年度最後の英検です。ベストを尽くしましょう。

### 行事予定

### January 1月

- 1日(火) 元旦
- 3日(木) SHIP事前研修
- 4日(金) SHIP出発
- 6日(日) 新春懇親会
- 7日(月) 振替休日
- 8日(火) 朝礼、授業開始
- 12日(土) 東海大学進学相談会(高2)
- 13日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 14日(月) 成人の日
- 16日(水) 専門医によるカウンセリング
- 17日(木) 校医相談日、マナー講習会(高3)
- 18日(金) 高校推薦願書受付(高校)
- 19日(土) スポーツ大会(高1)
- 21日(月) 中等部願書受付開始(第1回 31日まで、第2回 ~2月2日まで)
- 22日(火) 高校推薦入試(高校:自宅学習日、中等部:都内英語パスツアー)
- 23日(水) 高校推薦入試合否発表
- 24日(木) 高校推薦入学手続
- 25日(金) 高校一般願書受付(31日まで)
- 26日(土) 英検・漢検
- 31日(木) 特別講座終了(高3)

### February 2月

- 1日(金) 中等部第1回入試(中高:自宅学習日)
- 2日(土) 中等部第1回入試合否発表
- 3日(日) 中等部第2回入試
- 4日(月) 朝礼、中等部第2回入試合否発表
- 7日(木) 学年集会(高2)
- 10日(日) 高校一般入試
- 11日(月) 建国記念の日  
高校一般入試合否発表
- 12日(火) 高校一般入学手続(平常授業)
- 13日(水) 専門医によるカウンセリング
- 14日(木) 生徒による授業評価アンケート(高1・2、中等部)
- 15日(金) 基礎力判定テスト(5教科)(高1・2)
- 21日(木) 校医相談日
- 22日(金) 登校日(高3)
- 23日(日) SHIP帰国
- 29日(金) 3年生を送る会  
高輪会入会式(高3)

### 3年・スポーツ大会(アリーナ)の様子



### 編集後記

「門松は冥土の旅の一里塚 めでたくもあり めでたくもなし」 かの一休さんの歌とされる。数え年では正月に年を取る。無事に正月を迎えられたことはめでたいにはちがいないが、その一方でまた1年、残りの人生が確実に短くなったとなれば、手放しておめでたがってもいられない、ということか。それにしても、近頃、正月のあの凛とした真新しい清々しさを感じなくなったのは、ハレとケの境目が曖昧になったせいなのか、それとも単に年を取っただけなのか…(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>